

オンラインプラットフォームにおける 取引状況等

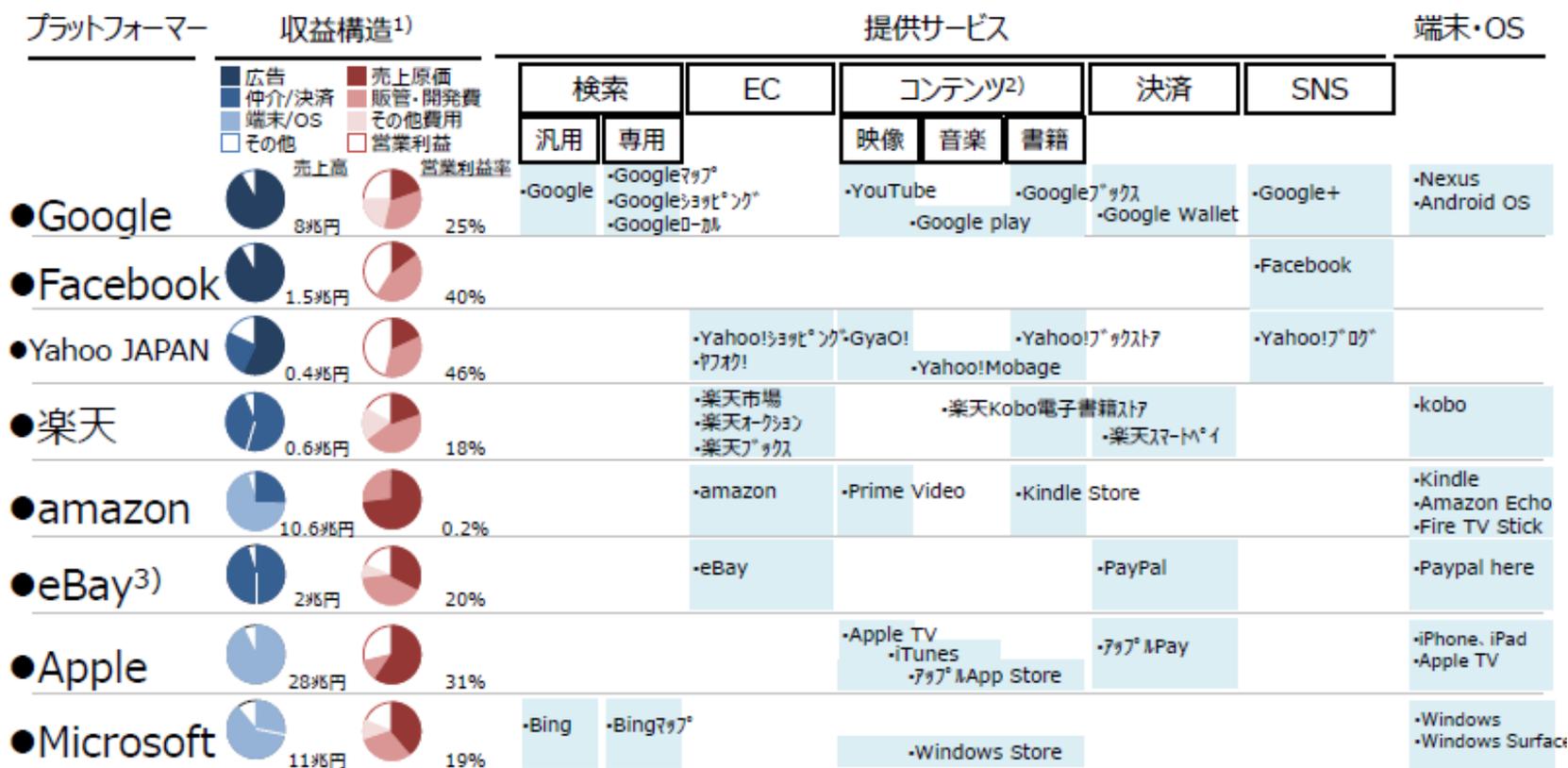
平成30年5月15日
内閣府消費者委員会事務局

目次

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | オンラインプラットフォームとは | 1 |
| 2 | オンラインプラットフォーム、提供者、購入者等の関係 | 2 |
| 3 | インターネットショッピングモール取引の推移 | 3 |
| 4 | シェアリングエコノミー取引の推移 | 4 |
| 5 | フリーマーケット・オークション取引の推移 | 5 |
| 6 | 「インターネット通販」に関する相談件数の推移 | 6 |
| 7 | 「個人間売買」及び「インターネットオークション」に関する相談件数の推移 | 7 |

1 オンラインプラットフォームとは

プラットフォームとは、いわゆる取引の基盤環境を提供する事業者であり、オンラインプラットフォームで提供されているサービスとしては、例えば、検索、EC（ショッピングモール、オークション、フリーマーケット）、コンテンツ（アプリマーケット）、決済、SNS等がある。

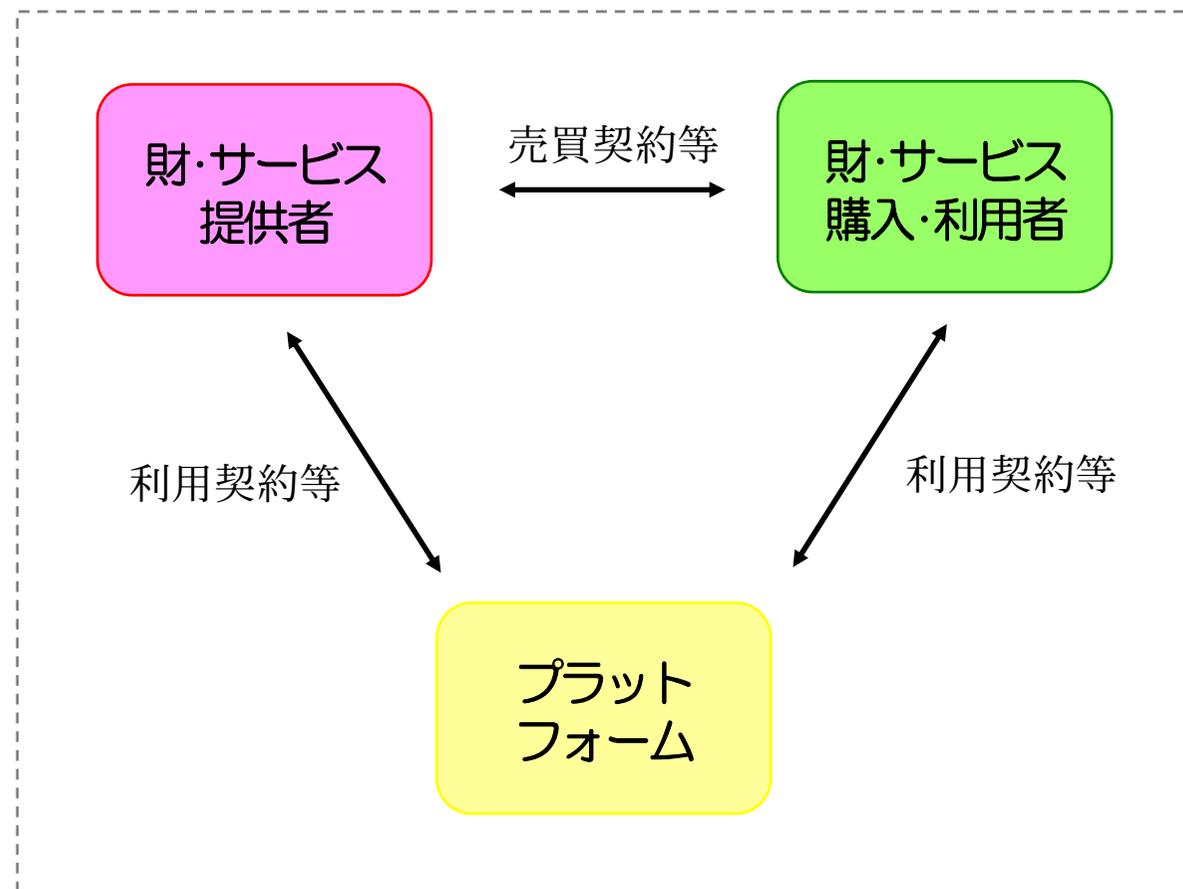


注) 1. 各社最新の財務諸表より作成。事業年度が異なるため、期間は必ずしも一致しない。
 2. ここでは映画、アニメ、ゲームを「映像」と一括りにしている。
 3. 2015年7月にeBayとPayPalは分社化している。

2 オンラインプラットフォーム、提供者、購入者等の関係

オンラインプラットフォームを介在する取引には、BtoC型だけでなく、CtoC型のものもある。

BtoC型・CtoC型取引イメージ



3 インターネットショッピングモール取引の推移

2017年のBtoC-EC市場規模（推計）は16兆5,054億円（前年比9.1%増）に拡大。

BtoC-ECの市場規模等の経年推移



(注)上記市場規模(推計)は、企業と消費者間でのECによる取引金額で、国内に拠点を置く企業が国内で消費者に販売した製品・サービスの額(販売額)。消費者への販売とは家計が費用負担するものを指し、消費財であっても個人事業者の事業用途の物品購入は原則含まれていない。上記市場規模(推計)は、物販系分野(食品、雑貨、衣類等)、サービス系分野(旅行サービス、チケット販売、金融サービス等)、デジタル系分野(電子出版、有料音楽配信、オンラインゲーム等)の3つのカテゴリー別に算出されたもの。
なお、EC化率(物販系分野のみ対象)とは、電話、FAX、Eメール、相対(対面)等も含めた全ての商取引金額(商取引市場規模)に対するEC市場規模の割合のこと。

出典：平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備(電子商取引に関する市場調査)報告書(平成30年4月経済産業省商務情報政策局情報経済課)

4 シェアリングエコノミー取引の推移

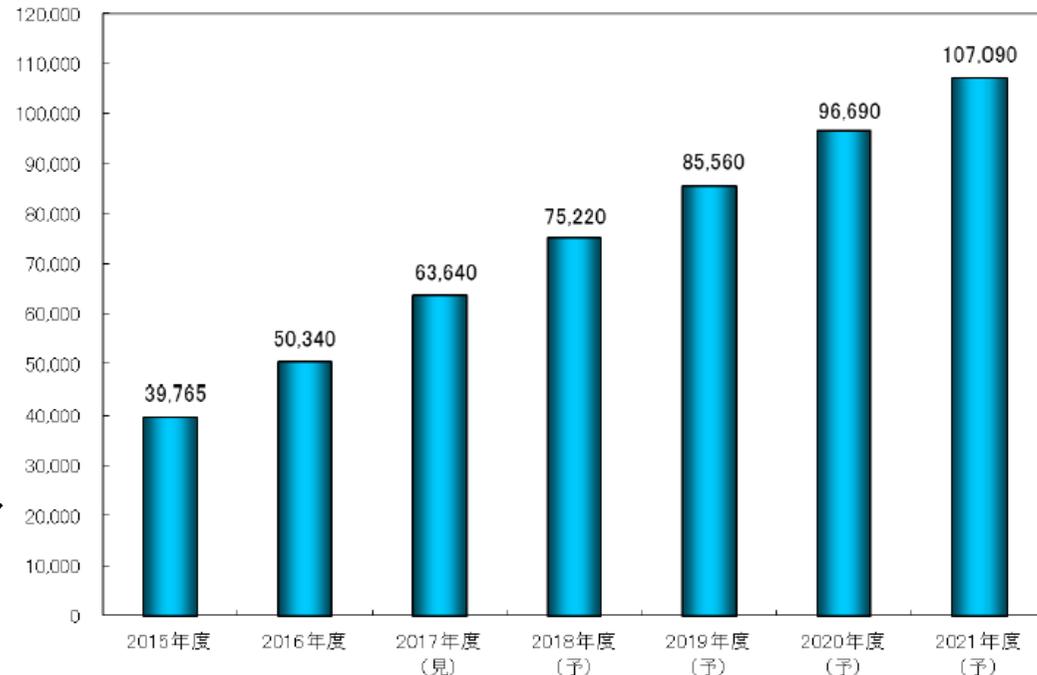
シェアリング・エコノミーとは、個人等が保有する活用可能な資産等を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動とも捉えられる。

主なシェアリングエコノミーの分類

- ① シェア×モノ
フリマ・レンタルサービス
- ② シェア×空間
ホームシェア・農地・駐車場・会議室
- ③ シェア×スキル
家事代行・介護・育児・知識・料理
- ④ シェア×移動
カーシェア・ライドシェア・コストシェア
- ⑤ シェア×お金
クラウドファンディング

シェアリングエコノミー(共有経済)国内市場規模推移と予測

(単位:百万円)



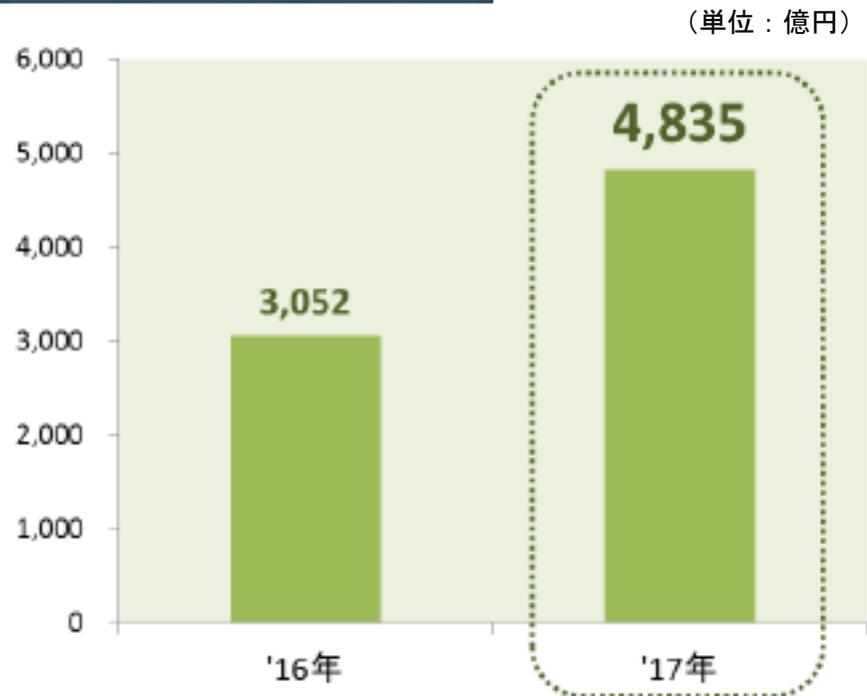
(注)本調査におけるシェアリングエコノミーサービスとは、不特定多数の人々がインターネットを介して乗り物・スペース・モノ・ヒト・カネなどを共有できる場を提供するサービスのことを指す。但し、音楽や映像のような著作物は共有物の対象にしていない。
シェアリングエコノミー市場規模は、サービス提供事業者のマッチング手数料や販売手数料、月会費、その他サービス収入などのサービス提供事業者売上高ベースで算出した。

出典: シェアリングエコノミー検討会議中間報告書-シェアリングエコノミー推進プログラム-(2016年11月シェアリングエコノミー検討会議・内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室)、第1回シェアリングエコノミー検討会議資料(平成28年7月8日一般社団法人シェアリングエコノミー協会提出)、シェアリングエコノミー(共有経済)市場に関する調査(2017年)(平成29年11月15日株式会社矢野経済研究所公表)

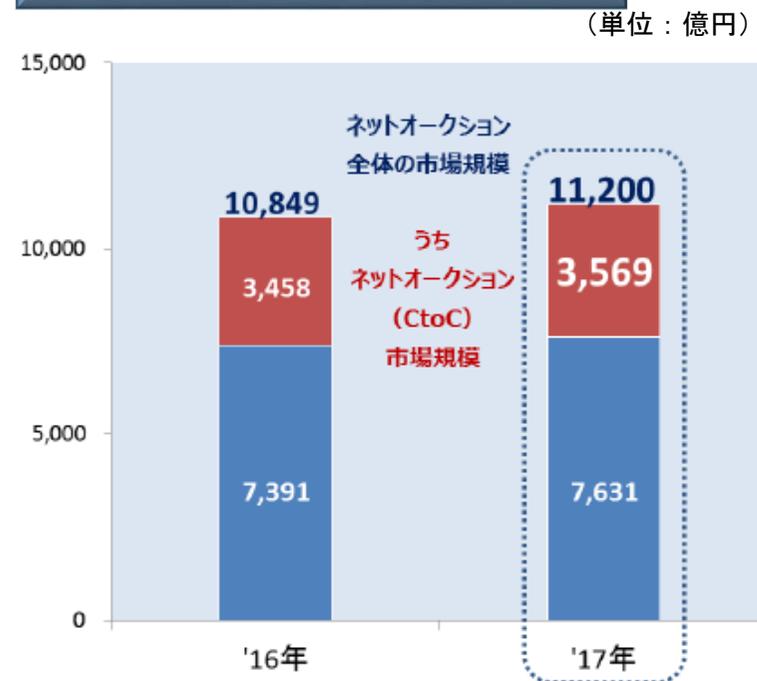
5 フリーマーケット・オークション取引の推移

2017年のフリマアプリの市場規模（推計）は4,835億円（前年比58.5%増）に拡大。
また、ネットオークション全体の市場規模（推計）は11,200億円（前年比3.2%増）。そのうち、CtoCの市場規模（推計）は3,569億円となっている。

フリマアプリの推定市場規模



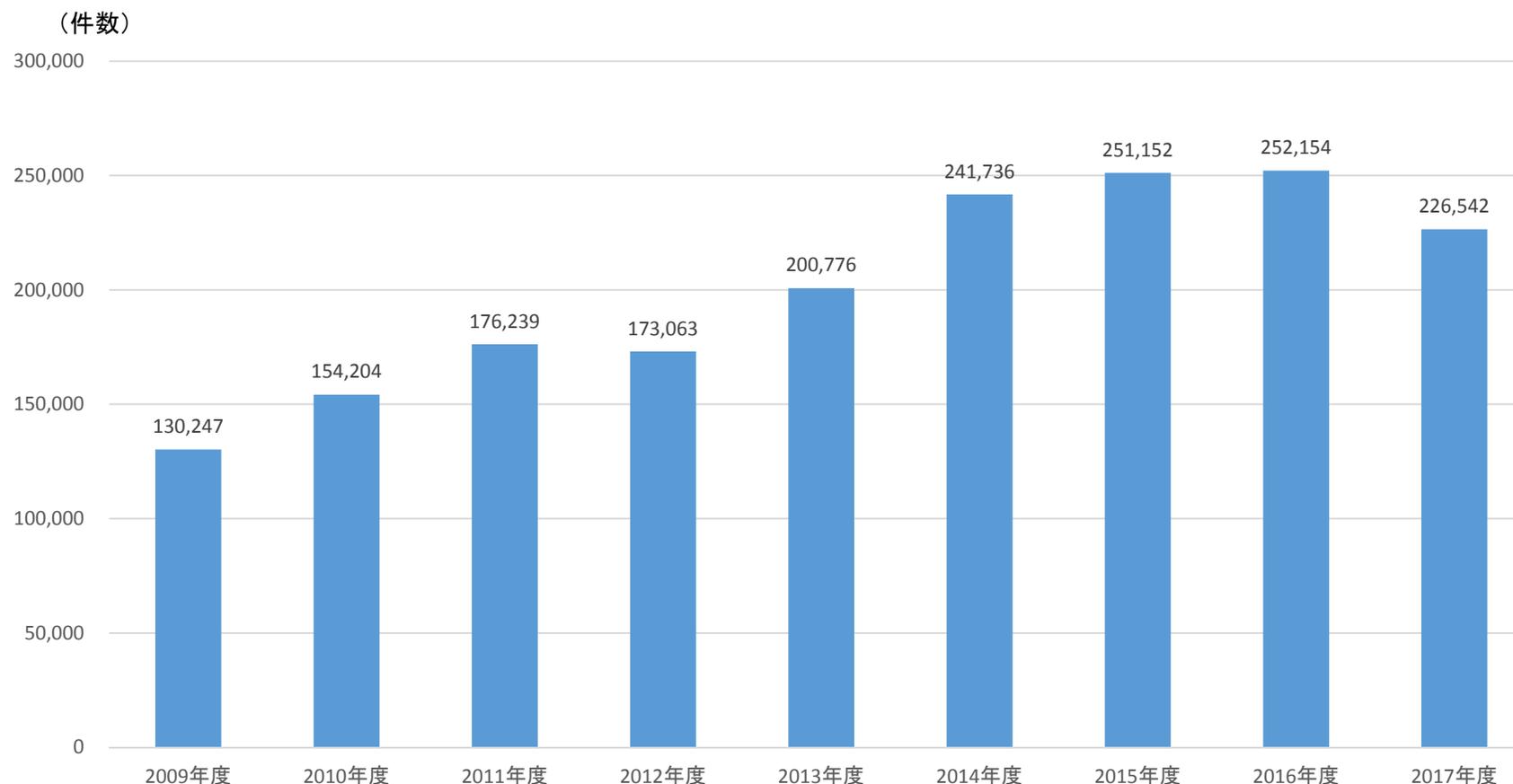
ネットオークションの推定市場規模



(注)フリマアプリの市場規模は統計情報、関連企業等へのヒアリングに基づき、また、ネットオークションの市場規模は各種情報リソースを基に推計されたもの。
ネットオークションでの取引は個人間に止まるものではなく、実際にはBtoB、BtoCの取引も多く行われているのが実態。

6 「インターネット通販」に関する相談件数の推移

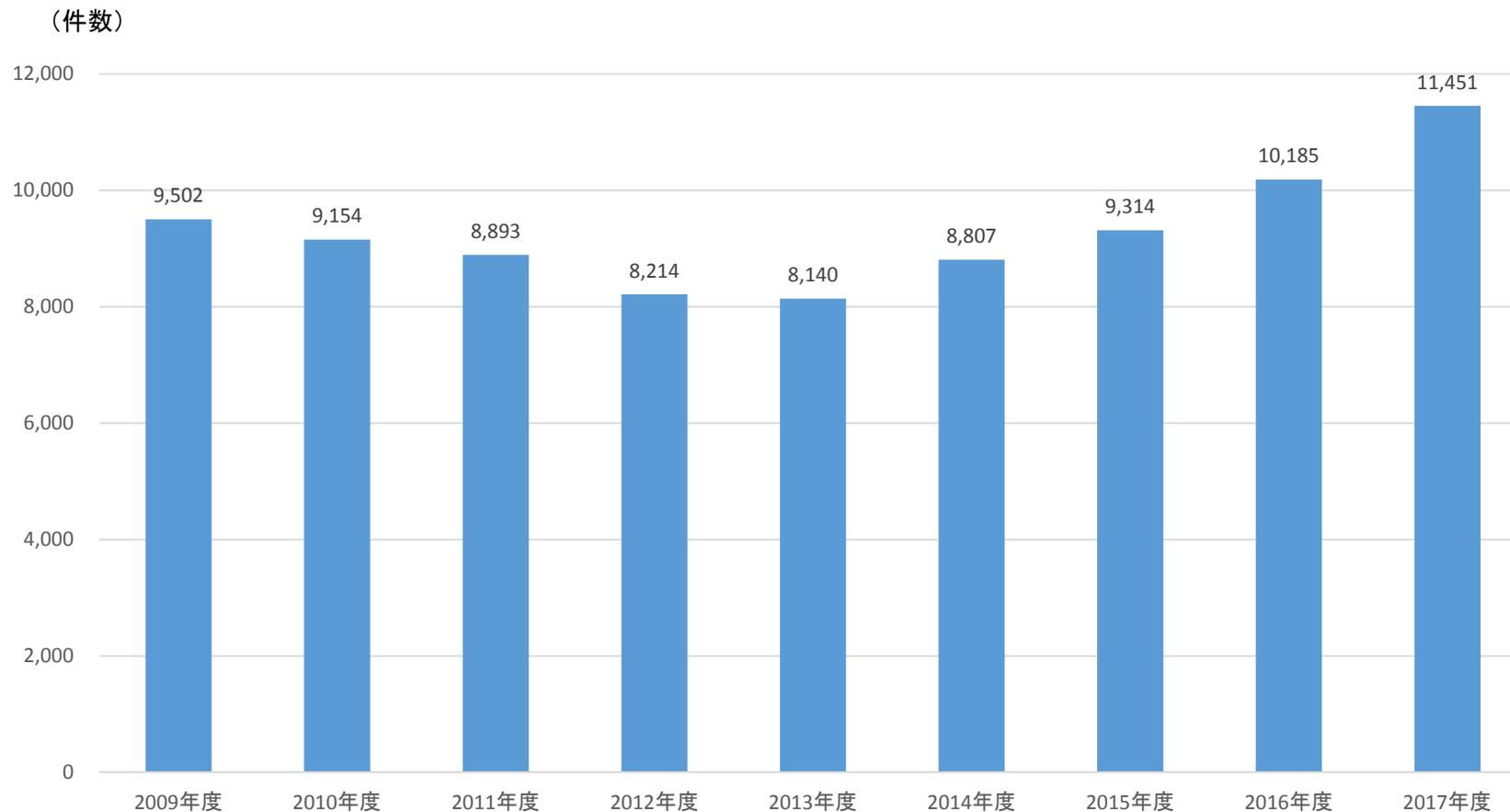
電子商取引のうち、「インターネット通販」（BtoC関連）全体の相談件数は、2016年度までは上昇傾向であったが、2017年度についてはやや減少している。 ※ アダルト情報サイト等のサイト利用料、オンラインゲーム等のデジタルコンテンツも含む。



出所: PIO-NET(パイオネット:全国消費生活情報ネットワークシステム)とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのこと。なお、本資料におけるデータは2018年4月13日までの登録分であり、消費生活センター等からの経由相談は含まれていない。

7 「個人間売買」及び「インターネットオークション」に関する相談件数の推移

「個人間売買」又は「インターネットオークション」（CtoC関連）全体の相談件数の推移は上昇傾向にある。 ※「個人間売買」については、電子商取引以外も含む。



出所：PIO-NET（パイオネット：全国消費生活情報ネットワークシステム）とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのこと。なお、本資料におけるデータは2018年4月13日までの登録分であり、消費生活センター等からの経由相談は含まれていない。